

《バス・タクシー・トラック》

・バスの申請・処分状況（平成23年7月分）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/bus/s_2307_1.pdf

・タクシーの申請・処分状況（平成23年7月分）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/taxi/s_2307_1.pdf

・トラックの申請・処分状況（平成23年7月分）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/truck/s_2307.pdf

・タクシーの申請公示状況（平成23年8月11日、22日付け公示分）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/taxi/k_230822.pdf

・タクシー特定地域協議会（鹿児島運輸支局管内第4回開催分議事概要）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file18/kag.html

☆報道発表

・一般貨物自動車運送事業者に対する事業停止処分

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0815-kansa.pdf>

・シンガポールで開催される「クルーズ・ SHIPPING・アジア2011」に九州ブースを出展します！

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0823-kokusai.pdf>

☆お知らせ

・9月と10月は「自動車点検整備推進運動強化月間」です。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2011-0819_seibi_1.pdf

・「環境に優しい自動車整備工場等」の運輸支局長表彰

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2011-0819_seibi_2.pdf

・平成23年度観光地域づくりプラットフォーム支援事業（2次公募）の補助採択を行いました

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0819_kantika.pdf

・川下り船の安全運航の徹底について

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0819_unroukan.pdf

・「貸切バス事業者安全性評価認定制度」に基づく貸切バス事業者の認定について

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha03_hh_000103.html



2 現場レポート

▼▼『バリアフリー教室 in かもしま』▼▼

～かぞくで学ぶ ふくし体験教室～

鹿児島運輸支局は、鹿児島県社会福祉協議会（鹿児島県介護実習・普及センター）との共催で、7月31日、高齢者・障がい者等の疑似体験やその介助体験をすることで、バリアフリーへの理解を深めるとともにボランティアに関する意識を醸成してもらおうと、かごしま県民交流センターにおいて、「バリアフリー教室 in かごしま」を開催しました。

今回の教室には、小中学生親子37名と福祉作業所の7名、計44名が参加しました。

開校式の後、車いす体験班と高齢者疑似体験班の2班に分かれて、コースに沿って疑似体験および介助体験をしていただきました。

まず、車いす体験では、体験リーダーより、車いすを利用する場合と介護する場合の注意事項の説明があり、鹿児島市交通局さんからご協力いただいたノンステップバスに移動し、車高調整機能やスロープの設置実演から、車いすの固定までを体験させていただきました。

その後、施設内での移動や多目的トイレの体験等を行いました。車いす体験終了後は、高齢者疑似体験班と交代し、高齢者疑似体験セットを身に付け、施設内の階段や、ノンステップバスの乗降体験、また、保護者の方と交代して、介護体験等を行いました。

最後に、受講者には、修了証を交付し、併せて、障がい者や高齢者が困っているのを見かけたら「何かお手伝い出来る事はありますか」という意識を、受講者の方々に持ってもらうために、『バリアフリーボランティア証』を交付しました。

保護者の方にお願ひしたアンケートでは、「ノンステップバスの機能にびっくりした。」「家族に車いすの子供がいるので、ぜひバスに乗せてみたい。」「バリアフリーに関する考え方等、より身近なものとして広く浸透してほしい。貴重な体験の場をいただきありがとうございました。」また、子供さんへのアンケートでは、「やっとおばあちゃんの気持ちがわかりました。」「車いすにのって、バスをのぼりくだりした時、押している人が荒かったり、急いでいたりすると、とても怖く、不安な気持ちになりました。」「外でお年寄りと会った時、進んで一緒に階段を上ったり、道を歩いてあげたいと思います。」などのご意見をいただき、心のバリアフリーを推進するには、まず、体験していただくことが一番の近道になると再確認いたしました。

鹿児島運輸支局においては、介護普及・実習センターさんと共同で、年1回の開催を目標に今後も協力していくこととしております。

※体験教室の様子は、次のURLからご覧頂けます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_135_1.pdf

（鹿児島運輸支局）

▼▼～鉄道好きの小学生あつまれー！～▼▼

第18回「鉄道の日」記念イベント

- ・本物の列車を使った運転体験・
- ・車両運転シミュレータ体験。

参加してみませんか！

「鉄道の日」九州実行委員会（事務局：鉄道部計画課）では、鉄道の魅力を広くアピールするとともに、便利さ・楽しさを実感し、より身近に感じてもらうため、毎年10月を「九州・レイルマンス」と定め、月間を通して各種イベントに取り組んでいます。

このイベントの一環として、鉄道事業者の協力のもと、小学生を対象に、本物の列車の運転席に座って駅構内の線路を実際に操縦する運転体験や、実際にプロの列車運転士教育に使用している運転シミュレーター体験などを実施します。

車両運転体験（小学3年生～6年生）保護者同伴

日時：10月1日（土）午前10時～

場所：筑豊電気鉄道（楠橋車庫内）

募集人員 午前15名、午後15名

日時：10月8日（土）午前10時～

場所：平成筑豊鉄道（金田駅構内）

募集人員 午前15名、午後15名

応募多数の場合は抽選となります。募集締め切りは 9月6日必着。体験開始時間（午前、午後）は事務局で指定させていただきます。

運転シミュレーター体験（小学生）保護者同伴

日時：10月8日（土）午前10時～

場所：JR九州（福岡市南福岡：南福岡運転区）

募集人員 25名

各会場ごとの事前申し込み制で、応募多数の場合は抽選となります。募集締め切りは9月6日必着。体験開始時間は事務局で指定させていただきます。

応募要領など、詳しくは九州運輸局ホームページ <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/> に掲載しています。お問い合わせは、鉄道部計画課（092-472-4051）まで。

■■…キーワード…■■

「鉄道の日」とは、明治5年（1872年）10月14日、新橋・横浜間に日本で初めて鉄道が開通しその歴史の第一歩を踏み出しました。このことを記念して、鉄道に対する理解と関心の高揚を願って、平成6年から10月14日を「鉄道の日」と定め、今年で18回目となります。

（鉄道部 計画課）

▼▼平成23年度（第55回）船員労働安全衛生月間の実施について▼▼
平成23年9月1日～9月30日

今一度！！

「あせらず」「無理せず」「油断せず」

～ミス日本「ミス海の日」も九州船員災害防止大会参加～

「船員労働安全衛生月間」は、海上における船員労働安全衛生思想の普及、船舶所有者及び船員による自主的な安全衛生活動の促進等により船員災害の防止を図ることを目的として、国土交通省等の主唱により毎年実施されており、今年度で55回目を迎えます。

今年度は、今一度「あせらず」「無理せず」「油断せず」というスローガンのもと、下記の重点事項を実施するために、九州運輸局管内においては、各地区の船員労働安全衛生協議会が主体となり、訪船による安全衛生指導、安全衛生講習会の開催、医師による訪船診療、船員無料健康相談所の開設等、多彩な取組が行われます。

また、船員災害防止協会及び同九州支部の主催による「九州船員災害防止大会」が、9月8日（木）に当運輸局7階海技試験場において開催され、船員災害防止功労者の表彰、安全講話等が行われます。

なお、今回の大会はミス日本「ミス海の日」が総合司会として参加され大会に華を添えられます。

《今年度の重点事項》

- ① 海中転落や作業基準等不遵守による死亡災害の防止
- ② 多発する「転倒」、「はさまれ」の防止
- ③ 高齢船員の増加にともなう死傷災害の防止
- ④ 若年船員に対する安全衛生に係る指導の充実
- ⑤ 新型インフルエンザ等感染症及び生活習慣病の予防
- ⑥ 海難等による死傷災害の防止

(海上安全環境部 船員労働環境課)



3 国土交通省からのお知らせ情報



○東日本大震災初動の記録 災害時ノウハウ集

ノウハウ集（いざという時に役立つ88の工夫とノウハウ）

「災害時ノウハウ集」は、東日本大震災初動の応急対策の中で、災害対応を円滑に遂行するために各部局や現場で行われた様々な工夫やノウハウについて主なものをとりまとめたものです。

発災後5ヶ月を経た現時点の記憶を記録としてとどめ、今後の災害時に役立てたいと考えております。

【ノウハウ集の概要】

- 目次：工夫やノウハウを8つの大項目と23の小項目に分類し整理しています。
- ノウハウリスト：工夫やノウハウを200～300字に纏めわかりやすく概要を示しています。
- ノウハウ集：各々の工夫やノウハウを写真や図表を用いて一ページ（カラー）で説明しています。

